

今後の活動予定

〇〇シンポジウム



2012年12月7日(金) ・第5回男女共同参画推進シンポジウム

「時代を翔ける女性研究者たち ～その軌跡とキャリア展望～」

学生や若い研究者のロールモデルとなる研究者をお呼びし、ご自身のキャリア形成や若い世代へのメッセージについてご講演いただきます。その後、パネルディスカッション形式で、日米の違いなどもおまぜながら、学生、若い研究者のキャリア形成について討論します。

時間 : 13時30分～16時30分

場所 : 本学ミレニアムホール

講演 : Samiha Mourad氏 (William and Janice Terry Professor of Electrical Engineering, Santa Clara Univ.)
『The journey of a woman Engineering : From Cairo to Silicon Valley』

大隅 典子 氏 (東北大学大学院医学系研究科発生発達神経科学分野 教授)
『なぜ女性科学者は少ないのか ー科学的考察ー 』

和田 浩美 氏 (パナソニック株式会社 R&D本部 全社CTO室 システムエンジニアリング室 室長)
『マイノリティの会社の歩き方』

パネルディスカッション : <コーディネーター> 井上美智子 (本学 情報科学研究科 教授)
<パネリスト> Samiha Mourad氏、大隅 典子 氏、和田 浩美 氏
湊 小太郎 (本学 情報科学研究科 研究科長)
柴田 智広 (本学 情報科学研究科 准教授)

* 事前申し込みは必要ありません。

講演者への質問がある方は質問フォームにて受け付けております。(12月2日まで)
参画室HP : <http://www.naist.jp/gender/index.html>をご覧ください。

多数のみなさまのご参加をお待ちしています!!

活動報告

2012年11月10日 ・高山サイエンスタウンフェスティバルにて参画室広報ブースを設置しました。

「託児室せんたん」での一時託児では 8組12名の利用がありました。

「朝から託児室に行くのを待ち遠しがって、いつも一番に入室します！」

などのうれしい声や、シッターさんからは「子ども同士とても仲良く、上の子が下の子のお世話を
してあげたりとほほえましい光景がみられます」との報告もありました。



また、「第7回女子中高生のための関西科学塾」と共催で、公開セミナーを開催しました。

宗景 ゆり 助教 『乾燥や高温環境に順化したC4型植物』

森田 美代 准教授 『茎はどうして上を向くの ー植物の重力屈性ー』

本学で最先端の研究をされている研究者の話を間近に聞き、女子中高生たちも大いに刺激を受けたよう
です。

「先生の話にすごく興味を持つことができたので、学校の生物の授業が楽しくなりそうです」(中学生)

「中高生でも理解できるように説明して下さったのでわかりやすかったです」(中学生)

「生物学というのは大変時間のかかる研究なのだと思います。身近には研究にふれられないので、
こういう機会は楽しいです」(一般)

といった感想が寄せられました。



奈良先端大の数字あれこれ

●特別休暇取得状況（人）●

	平成22年度		平成23年度	
	教員	職員	教員	職員
妻の出産に伴うもの (入退院の付き添いなど)	0	6	3	7
男性の育児参加	0	3	2	3
子の看護（男性・女性）	0	13	0	10

特別休暇をとる男性教職員の数が増えています！
男性および周囲の環境の意識の変化の表れでしょうか？

「男女共同参画学協会連絡会について」

男女共同参画学協会連絡会をご存知でしょうか。連絡会は、加盟学協会間での連携協力を行いながら、科学技術の分野における、女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを主な目的として活動されています。主な活動は、年に一回の総会（シンポジウム）の開催等による学協会間での情報交換及び4、5年に一度程度行われている男女共同参画に関する大規模調査です。特に大規模調査については、本学も昨年度まで採択されていた「女性研究者支援モデル育成」等の国の補助事業、男女共同参画活動に多大な影響をもたらしてきました。

現在、第三回の大規模調査が11月30日まで行われており、本学の研究者の方々も学会を通じて多数ご参加されているかと思えます。これからの日本の、男女ともに研究者の生活環境・キャリアパス整備に向けた重要な調査になると思われます。国の政策には、説得力ある数値が一番と伺います。一人でも多くの研究者の回答が得られますよう、是非ご協力下さい。

(アンケート <http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/enquete.html>)。

お知らせ

けいはんな女性研究者ネットワーク茶話会

11月8日（木）にけいはんなプラザ「天の川」にて第5回茶話会を開催し、大人6名、子ども6名の参加がありました。子ども同士も楽しく交流し、和気あいあいとした賑やかな会になりました。初めての参加者からも「子ども連れで参加できる会は少なく、今回、とても楽しかった」との声がありました。

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、ワークライフバランスの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法: 参画室HPからメールフォームにてお申し込み下さい。

URL: http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html



◎実際に会っておしゃべりを楽しんでいただく場として、茶話会を催しています。お子様同伴もOK！



◎ネットワーク参加者の職場がどんな様子かを皆で見に行く、見学会も行っています。

ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、幅広く研究者のワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。メールでの相談も受け付けています。

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内
受 付 窓 口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受 付 時 間: 月曜日～金曜日 10:00～12:00/ 13:00～16:00
直 通 TEL: 0743-72-5138
専 用 E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp